



# 地域食農連携プロジェクト (北海道LFP) キックオフセミナー

## 北海道LFPの概要と 今後の進め方について

---

VERSION 1.0 2021.9.30

北海道経済部食産業振興課

# 本日まで説明する内容

---

1. LFPの定義の再確認
2. 北海道LFPの取組テーマについて
3. スケジュールと体制
4. 本事業が皆様に提供するメリット
5. まとめ



おさらい：つまり「LFP」とは？

---

Local **F**ood **P**roject の略

「食（food）とイノベーションの力で  
地域（local）の課題を解決する  
取組（project）」



北海道

食絶景北海道



# LFPにおける「社会的課題」

---

- 定義は前セッションで説明（P.7～11）
- 取り組む意義（大義）があるが、ハードルがあって取り組めていないテーマ（商品づくりに盛り込むことで魅力が生まれる）
- 具体的には今後のワークショップで検討



# 北海道LFPの取組テーマ（案）：

---

## UMAMI王国北海道

～世界で通用する国際語となった「UMAMI」をもたらし、  
豊富で安全・安心な道産素材を活かし、調味料産業として育成～



北海道

食絶景北海道



# 北海道LFPを通じて育てたいもの

---

2036年頃（15年後）に・・・

- 世界から「北海道産」指定で求められるブランドを持つ食品
- 北海道の農水産物はその食品に活用され、その成果により、道産農水産物のさらなる需要が生まれる
- その食品分野（産業）のため、多数の企業が北海道へ進出
- その産業は魅力的であり、全国の人材を惹きつける
- その産業は環境負荷の軽減に積極的である
- その産業を軸に、各地域の原料を活用した特色ある商品が生まれ、地域への観光誘客やコレクターニーズを創出する



北海道

食絶景北海道



# テーマの検討

候補選定の基準：北海道から多くの原料を供給していて、  
現在成長しつつあり、商品に輸出適性があると思われる分野

	菓子類	酒類	保存食品	調味料類
北海道ブランドの成長性	△ (既に一定のブランド力あり)	○ (ブランド育成の余地がある)	○ (ブランド育成の余地がある)	○ (ブランド育成の余地がある)
原料の多様性	△ (農産物に偏る傾向)	△ (農産物に偏る傾向)	○ (農林水全て利用可能)	○ (農林水全て利用可能)
新規参入の容易さ	△ (過当競争気味)	△ (ルール厳しい)	○ (ニッチ市場あり)	○ (ニッチ市場あり)
事業の展開可能性	○ (飲料とのマリアージュ、BtoB需要)	○ (つまみの提案、BtoB需要)	△ (一品完結を前提とした商品)	◎ (「ちよい足し」、家庭での調理、BtoBなど)



# 「UMAMI王国」の方向性

- 豊富で安全・安心な道産素材を活かし
- 北海道ブランドを最大限に訴求し
- 将来的には海外市場にも売り込める

## 調味料産業の育成

(水産物、野菜類、きのこ類、乳製品、果実類及びその副産物の有効利用による)

### 期待する成果

- 国内外に「北海道の味」として認知される新ブランドの形成
- 付加価値と安定性の増
- 原料としての道産農林水産物の需要の増
- 雇用の創出、人材の誘引
- 他の道産食品との組み合わせによる波及効果



北海道

食絶景北海道





# 北海道LFP「UMAMI王国北海道」 における想定プロジェクト（現時点案）

※本図は道担当者の素案をイメージとして提示するものであり、  
決定稿ではありません。  
今後LFPに関わっていただく皆様のご意見を伺いながら、  
戦略会議を通じて決定していきます。

+社会的課題の  
解決

UMAMI王国へのステップⅢ  
「世界が求める北海道のUMAMI  
開発プロジェクト」

ステップⅠ・ステップⅡの成果を活かし、  
ターゲットを海外に定めた  
「北海道のUMAMI」商品の開発を目指す

+社会的課題の  
解決

UMAMI王国へのステップⅡ  
「北海道のUMAMI  
ブランド開発プロジェクト」

「北海道らしいUMAMI」を訴求する  
意欲的な取組を支援し、UMAMIブラン  
ドづくりに寄与する複数の商品づくり  
をグループ化して支援

+社会的課題の  
解決

UMAMI王国へのステップⅠ  
「未利用資源を活かした  
北海道のUMAMI発見プロジェクト」

十分に利用価値が認められていない道  
産素材を発掘し、それを活用した調味  
料の開発・販路開拓を通じて、  
「北海道らしいUMAMI」の定義を探る

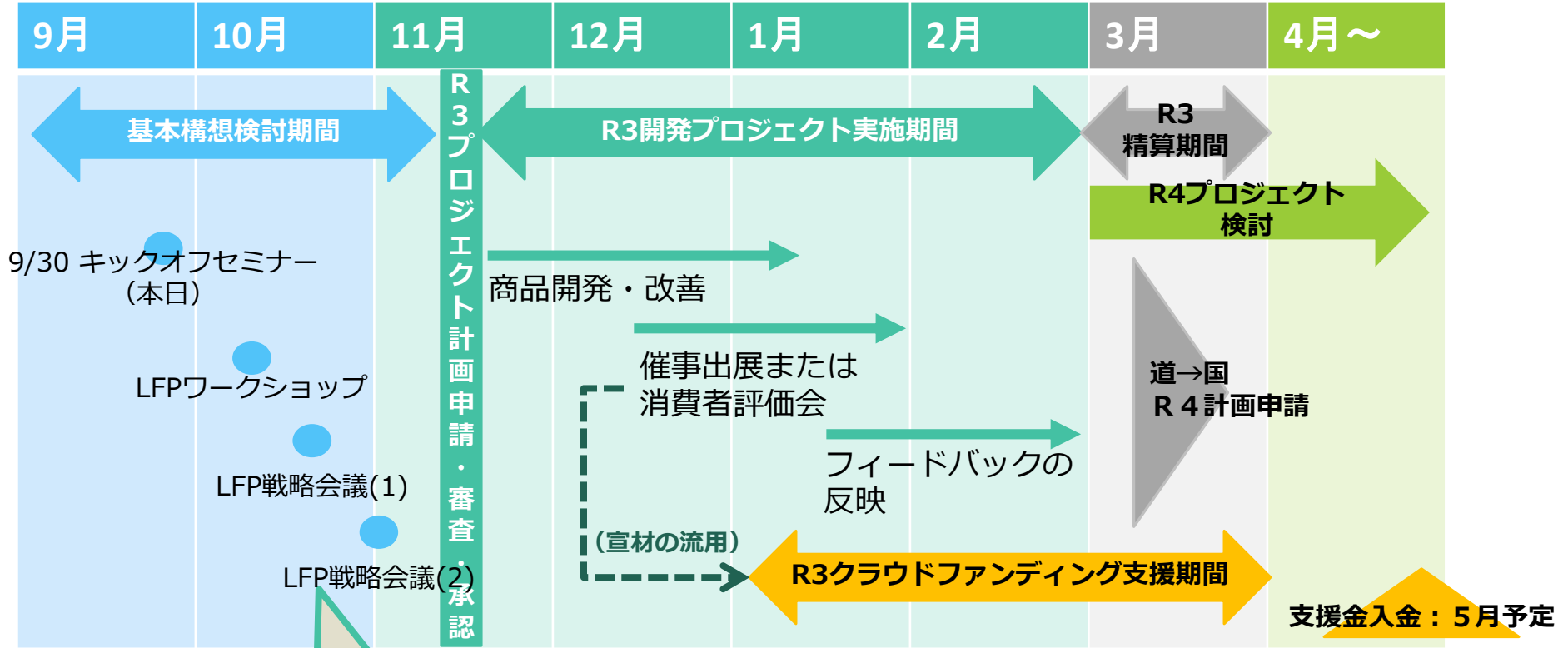


北海道

食絶景北海道



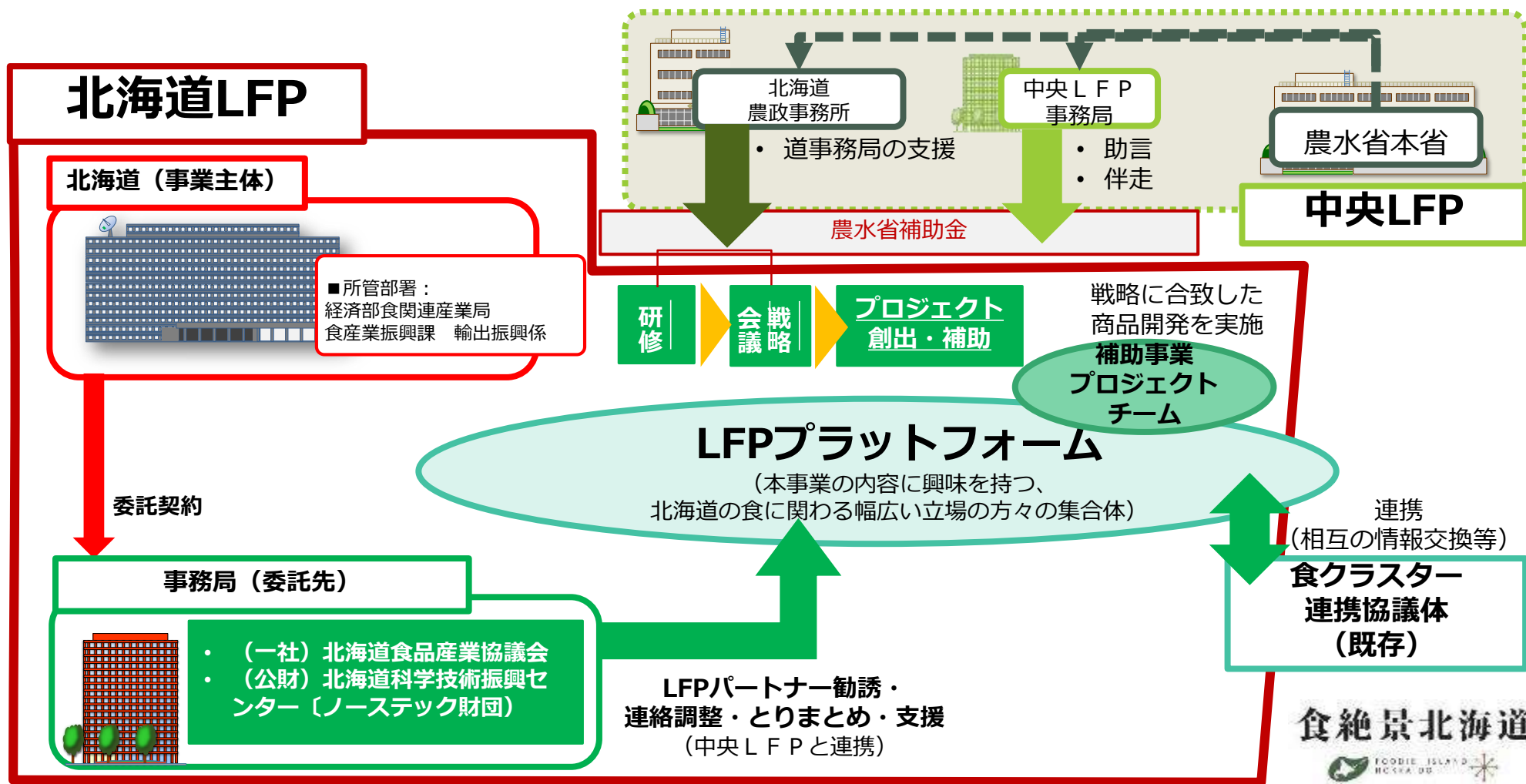
# 全体スケジュール（現時点）



プロジェクトの構想はワークショップと戦略会議を通じて確定となります

※本図はおおよそのイメージを示したものであり、現在詳細の予定は調整中です。

# 北海道LFPの体制



# 北海道 L F P への参加形態とメリット

## 1) LFPプラットフォーム参加者（LFPパートナー）

LFPの事業趣旨に賛同し、それぞれの立場から関心を持っていただける全ての方（主に北海道の食に関わる事業を行っている方を想定。所在地は道内外を問いません。）

### <参加のメリット>

- LFPの活動に関する最新情報が入手できる
- 北海道LFPの事業構想や補助事業プロジェクトに関して、意見やアイデアを出せる
- 補助事業プロジェクトに参加しているかどうかに関わらず、北海道LFPの方向性に合致した食のビジネス開発、取組方法、マッチング等について事務局に相談可能

## 2) 補助事業プロジェクトチームメンバー

北海道 L F P 戦略会議において年度ごとに決定する事業構想に沿って実施される商品開発プロジェクトにメンバーとして参加し、実施計画に沿った商品開発に携わる方々（LFPプラットフォームへの参加が前提となります）

### <参加のメリット>

- プロジェクトテーマに沿った商品開発及び販路拡大に係る経費の補助を受けられる
- LFPの考え方に基づく商品開発・マーケティング活動によりスキルアップが可能



# プロジェクト補助について

R3補助の前提：今後戦略会議で決定するプロジェクトのメンバーになっていただけること

## 補助対象経費 1 新商品等の開発に係る経費

- 試作品開発員の手当
- パッケージ開発員の手当
- 試作品材料・資材購入費
- 成分分析検査費
- 試作に係る機器のレンタル・リース料等

※原則、補助対象の新商品開発及び販路開拓は、間接補助事業者様の自主企画・運営により行うものを支援する想定です。ただし、道及び事務局による後方支援は行います。

## 補助対象経費 2 販路開拓の実施に係る経費

- 消費者評価会に係る費用
  - 会場借料
  - 資料印刷費
  - アンケート印刷費
  - 集計作業員の賃金
- 展示商談会等への出展に係る費用
  - 出展料
  - 出展旅費
  - 商品紹介資料制作・印刷費
  - 展示品輸送費
  - 消耗品費 等

## 〈経費補助ではない支援〉 クラウドファンディング支援

- プロジェクト補助を受けた商品は、本事業の一環として、R4年1～3月に実施が予定されているMakuake様でのLFP特集に出品することが可能です。
- LFPを通じて磨き上げた商品が本当に魅力があるのか、テストする場としての活用を想定しています。

## ● R4プロジェクト以降の考え方

道素案では「UMAMI王国へのステップⅡ」以降を想定していますが、今後のワークショップ・戦略会議の結果に基づき変更の余地があります。是非、皆様のご意見をお寄せください。

※令和4年度以降の本事業の予算については未確定ですのでご了承ください。



北海道

食絶景北海道



# まとめ

---

- 農林水産省の補助による「地域食農連携プロジェクト」の北海道版「北海道LFP」を今年度から開始します。
- 北海道LFPでは、「食で北海道の課題を解決する取組」として、長期の事業構想を定め、その構想に基づいて、毎年1件のプロジェクト補助を行います。
- 現状、「調味料産業の育成」（UMAMI王国北海道）をテーマとし、令和3年度は「未利用資源を活かした北海道のUMAMI発見プロジェクト」を補助対象（事業期間は2021年11月～2月を想定）とする予定ですが、この内容は今後のワークショップと戦略会議で決定します。
- LFPプラットフォームへの参加者、また各年度プロジェクトへの参加希望者は随時募集していますので、ご興味のある方はぜひご参加ください。

**ご清聴ありがとうございました！**



北海道

食絶景北海道

